



平成 26 年 8 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 丹 青 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 青 田 嘉 光
 本 社 所 在 地 東 京 都 台 東 区 上 野 5 丁 目 2 番 2 号
 (コード番号 9743 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 取 締 役 常 務 鈴 木 清 明
 (TEL 03-3836-7282)

平成 27 年 1 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 お よ び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 な ら び に 配 当 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 3 月 14 日に公表した平成 27 年 1 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 お よ び 通 期 の 業 績 予 想 な ら び に 配 当 予 想 を、下 表 の と お り 修 正 い た し ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す。

記

業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 1 月 期 第 2 四 半 期 (累計) 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平成 26 年 2 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 26 年 3 月 14 日 発 表)	百万円 31,000	百万円 1,180	百万円 1,190	百万円 1,020	円 銭 31.80
今 回 修 正 予 想 (B)	32,500	2,290	2,320	1,700	52.99
増 減 額 (B-A)	1,500	1,110	1,130	680	
増 減 率 (%)	4.8	94.1	95.0	66.7	
(ご参考) 前 期 第 2 四 半 期 実 績 (平成 26 年 1 月 期 第 2 四 半 期)	29,470	1,220	1,287	1,100	(注) 34.25

(注) 当社は、平成 26 年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき 1.3 株の割合で株式分割を行っております。なお、前期実績の「1 株当たり四半期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 平成 27 年 1 月 期 (通期) 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平成 26 年 2 月 1 日～平成 27 年 1 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 26 年 3 月 14 日 発 表)	百万円 59,000	百万円 2,000	百万円 2,040	百万円 1,610	円 銭 50.19
今 回 修 正 予 想 (B)	61,000	2,700	2,800	2,000	62.35
増 減 額 (B-A)	2,000	700	760	390	
増 減 率 (%)	3.4	35.0	37.3	24.2	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 26 年 1 月 期)	57,074	2,061	2,177	2,565	(注) 79.89

(注) 当社は、平成 26 年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき 1.3 株の割合で株式分割を行っております。なお、前期実績の「1 株当たり当期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(3) 修正の理由

第2四半期連結累計期間および通期の売上高につきましては、受注環境の改善を受け、堅調に進捗しており、前回予想を上回る見込みです。利益面につきましても、主に商業その他施設事業において、採算を重視した受注活動等の収益性向上に向けた施策が寄与していることおよび懸念されていた現場作業員の人手不足や資材価格の高騰の影響も第2四半期末時点では小さいこと等から前回予想を上回る見込みです。

配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想 (平成26年3月14日発表)	円 銭 5.00	円 銭 5.00	円 銭 10.00
今 回 修 正 予 想	5.00	7.00	12.00
当 期 実 績			
前期 (平成26年1月期) 実績	0.00	10.00	10.00

(注) 当社は、平成26年2月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合で株式分割を行っております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金の前期実績を算定した場合7.69円となります。

(2) 修正の理由

当社の利益配分の方針は、長期的な観点に立ち資本の充実を勘案しながら、収益の状況に応じた配当を行うことを基本とし、この方針に基づき配当性向等を考慮し利益の配分を行っております。

また、内部留保資金につきましては、今後予想される競争の激化や経営環境の変化に耐え得る企業体質の強化をはかり、新たな成長分野への事業展開を推進するための研究、開発、設備投資および財務体質の改善その他の資金需要を賄う原資として活用してまいります。

今回、平成27年1月期通期連結業績予想は上表のとおり、前回予想を上回る見通しであることおよび今後の経営環境等を考慮し、当期の1株当たり期末配当金を前回予想から2円増配し、1株当たり7円に修正し、年間配当金を1株当たり12円とさせていただきます。

なお、中間配当については平成26年9月5日開催予定の取締役会で決議の予定であり、期末配当につきましては平成27年4月下旬に開催予定の当社第57回定時株主総会において付議させていただく予定です。

以 上

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。